

2024年10月7日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 小椋 健司

ウガンダ国カルマ橋建設計画
(協力準備調査(無償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2024年9月20日(金) 14:00～17:09
- ・場所：JICA 本部（2階202会議室）及びオンライン
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、小椋委員、重田委員、鈴木（克）委員
- ・議題：ウガンダ国カルマ橋建設計画（協力準備調査（無償））に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【DFR】ウガンダ国カルマ橋建設計画（協力準備調査（無償））
 - 2) ESIA_Karumabridge_Feb 2015
 - 3) ESIA_Main_KarumaBridge
 - 4) Copy of NEMA ESIA Validation Letter (July 25, 2024)
 - 5) ①第1回住民会議説明資料
 - 6) ②アンケート質問票
 - 7) 【助言対応表】ウガンダ国カルマ橋建設計画（協力準備調査（無償））SC案
 - 8) 【SC案時回答表】ウガンダ国カルマ橋建設計画（協力準備調査（無償））
 - 9) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第161回委員会）

- ・日時：2024年10月7日(月) 14:00～16:51
- ・場所：JICA 本部（2階202会議室）及びオンライン

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 大気汚染の将来予測については、供用開始後 2 年に当たる 2030 年の予測だけでなく、参考情報として 2035 年、2040 年の予測結果も FR に記載すること。

ステークホルダー協議・情報公開

2. 漁場へのアクセスルートに影響が及ぶような工事が極力行われることがないように、DFR で検討された継続的なモニタリングを実施し、もし影響が生じた場合は、大幅に迂回を生じさせることがないように配慮する等、漁業活動に大幅な悪影響が生じないような緩和策を講じること。

以 上